



1 松戸の万作踊り

練習場所 松戸市民会館 (304室または305室)
住所 松戸市松戸1389番地の1
交通 JR常磐線・京成松戸線松戸駅東口から徒歩約7分
練習は月2回で、第2・第4金曜日(9:30~13:00)に行っています。



2 小金囃子

練習場所 小金八坂神社
住所 松戸市小金444-57
交通 JR北小金駅から徒歩7分
楽鼓会(上町)は土曜日に、御蔵居囃子保存会(中町)は水曜日に練習を行っています。



3 上本郷の三匹獅子舞

練習場所 明治神社
住所 松戸市上本郷2087
交通 JR北松戸駅から徒歩10分
練習は10月の祭礼前の2週間でを行っています。



4 和名ヶ谷の三匹獅子舞

練習場所 和名ヶ谷日枝神社 社務所
住所 松戸市和名ヶ谷822
交通 松戸駅から京成バス千葉ウエスト「和名ヶ谷中台」バス停下車徒歩5分
練習は8月~9月の期間中に10日間程度行っています。



松戸市 伝統芸能保存会とは?

地域の伝統芸能がこれからも末永く続くように、松戸市と芸能団体が力を合わせていくための団体です。



5 矢切囃子

練習場所 矢切神社会館
住所 松戸市下矢切332
交通 北総線矢切駅から徒歩5分
練習は1週間に1回 土曜日18:30~に行っています。



6 大橋の三匹獅子舞

練習場所 大橋胡録神社 住所 松戸市大橋769
交通 ・松戸駅から京成バス「胡録神社」バス停下車すぐ
・北総鉄道北国分駅から徒歩約20分
練習は不定期で、10月の祭礼前の1か月の間で行っています。

ここでご紹介した
伝統芸能のご見学、
ご入会の希望がございましたら、
お気軽にそれぞれの団体
までご連絡ください。
お待ちしております!!!

発行日：令和8年(2026)3月31日

編集・発行：松戸市伝統芸能保存会(事務局：松戸市教育委員会 文化財保存活用課)
〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671番地 電話番号 047-382-5570

絵とデザイン：宮内知佳

©2026 Matsudo City Traditional Performing Arts Preservation Society



まつどの 伝統芸能

TRADITIONAL PERFORMING ARTS OF MATSUDO

松戸市には、各地域に古くから伝わる多くの伝統芸能があります。身近にある伝統芸能を広くみなさんに知って頂くこと、そしてその芸能にみずから参加し、後の時代まで受け継いでいって頂けるよう、その一部を紹介します。

松戸市伝統芸能保存会

さん びき し し まい 三匹獅子舞

こ ぐ ほう じょう
五穀豊穰(農作物がたくさん得られること)と
えき びょう たい さん
疫病退散(病気が流行らないこと)を祈る踊り

かみ ほん ごう さん びき し し まい 上本郷の三匹獅子舞

登場するのは大獅子1人、中獅子1人、女獅子1人、獅子の世話を焼く野猿坊と呼ばれる世話役1人、笛数人です。女獅子をめぐる大獅子と中獅子がケンカをする曲や、氏神様の前で蛇に見立てた竹を切る剣の舞など全部で十三曲の舞があります。毎年、10月の第2日曜日(スポーツの日の前日の日曜日)に上本郷地域の風早神社と明治神社で舞います。

250余年に渡り継承がされております。中学生～の若者が舞いますが、近年は担い手不足に悩んでおります。



ホームページ

上本郷獅子講中(大世話人)の井ノ川和寛さん

わ な が や さん びき し し まい 和名ヶ谷の三匹獅子舞

登場するのは親獅子1人、女獅子1人、中獅子1人、猿1人、笛数人です。江戸時代の天明年間(1781～1789年)に地震や飢饉があったとき、この土地のお代官さまが神輿と一緒に獅子舞を奉納したという伝承があります。毎年、9月下旬の土・日曜日に和名ヶ谷日枝神社で舞います。お菓子撒きもしています。

10代～80代まで幅広い年代の人達が楽しく踊っています。興味のある方はぜひ笛吹・舞子に応募してください!

和名ヶ谷三匹獅子舞保存会 会長の江原弘二さん

おお ばし さん びき し し まい 大橋の三匹獅子舞

登場するのは前獅子1人、中獅子1人、後獅子1人、猿1人、謡手(歌い手)1人、笛数人です。猿は安産や良縁のおまじないとして活躍し、観衆に向かって柿を投げるところが特徴です。毎年、10月下旬の土・日曜日に大橋胡録神社で舞います。

皆さん、ぜひ1度見に来てみてください。お待ちしております! 舞の最後にお菓子撒きもあります。



ホームページ

大橋獅子保存部 部長の渡辺一幸さん

まん さく おど 万作踊り

お かしさを取り入れた、農村地域の踊りと芝居

まつ と まん さく おど 松戸の万作踊り

万作踊りの「万作」とは、豊年万作、つまり農業や漁業でたくさんの量が得られますよという意味の言葉です。

江戸時代から続く関東地方の庶民娯楽で、祭りや縁日、婚礼などの祝いの席で演じられてきました。

松戸で踊られる万作は、「木更津」や「高砂」、「鮎屋」などの手踊りと、「白粉屋」、「新川」、「越後評判」など段物と呼ばれる芝居仕立てのものが伝承されています。かつては二ツ木、千駄堀、中和倉、上本郷、日暮、松戸新田、紙敷の各地で踊られていました。昭和45年(1970)には万作踊り松戸保存会を結成し、毎年秋に松戸市民劇場で開催する「万作踊り松戸保存会と伝統芸能のつどい」で踊りを発表しています。



万作踊り 松戸保存会の松鶴家 千代花さん

踊ればみんな仲間、リズムに合わせて輪になれば、心も体も踊り出す。みんなで伝統の万作踊りを楽しもう!



紹介動画

はや し お囃子

神社の神様のお祭りを、楽器で盛り上げる演奏

こ がね ばやし 小金囃子

埼玉県の大宮地域で始まった「御叢居囃子」と江戸の囃子が混ざったようなお囃子です。上町の楽鼓会、中町の御叢居囃子保存会、下町のでんつく会が合同となり、小金八坂神社囃子会を結成しました。小金八坂神社の祭り(7月第二土曜日)や小金宿まつり(8月末)などで演奏しています。

私たちは文化の継承と町の繁栄を願って、小金で老若男女みんなと獅子と一緒にピーヒャラドンドンお囃子を続けています。



小金八坂神社囃子会 代表の日暮さん

や きり ばやし 矢切囃子

大正初期、矢切の若者たちが江戸の囃子を習って始めたと言われ、昭和57年(1982)に矢切囃子保存会を結成しました。毎年、年末年始や矢切神社お祭り(10月下旬)などで演奏します。また、矢切小学校の学校行事へ参加したり、氏子町会で演奏を行ったりするなど、幅広く活動しています。



矢切囃子会のみなさん

深川囃子の流れを汲み、矢切に根付いて百年以上、祭りに無くてはならない祭り囃子です。神社の行事には勿論、小学校の行事収獲祭にも協力しています。毎週土曜の夜、楽しく稽古です。皆様のご参加お待ちしております。

